

総合防災マップを ご活用ください

本市発行の防災マップでは、住んでいる地域の河川が氾濫した場合の浸水の深さや、土砂災害の危険区域などの情報を掲載しています。



また、防災情報の収集や持出品、備蓄品などに関する情報のほか、避難行動についても詳しく紹介しています。特に、ひとり暮らしの高齢者や障がいのある人など、災害情報の入手や自ら避難することが困難な人を地域で支え合う「避難行動要支援者支援制度」、日常生活全般に特別な配慮が必要な人に安心して避難していただくための福祉避難所に関する情報など、一人でも多くの命が救われるために必要な情報をまとめています。

この防災マップを活用して、避難場所までの安全な経路や、非常持出品などについて、日頃から家族や地域で話しあっておきましょう。

水害からの避難の考え方

水害時は、危険が迫る前の早めの避難が何より重要です。土砂災害のおそれがある場所に住んでいたり、子どもや高齢者、避難行動要支援者が家族にいる場合は、特に早めの避難を心がけてください。

ただし、危険な状況下での避難はできるだけ避け、安全確保を第一に考えましょう。夜間など、足元が見えない時の無理な避難はかえって危険な場合があります。そのため、危険が切迫しているときは、離れたところにある指定された避難場所への移動（水平



避難）だけでなく、自宅の2階以上や近くの高い場所への移動（垂直避難）も考えましょう。

災害が迫ったとき、置かれた状況は一人一人違います。それぞれが自ら判断し適切な避難行動を取らなければなりません。



新型コロナウイルス感染症

を踏まえた避難のポイント

1. 密集を避けるため、在宅避難や知人・親戚宅への避難を検討

防災マップなどでお住いの地域のリスクをご確認ください。避難所での密集を避けるため、自宅での安全確保が可能な人は在宅避難しましょう。自宅が危険な場合、安全な親戚・知人宅に避難することも考えておきましょう。



新型コロナウイルス感染防止に配慮した避難所レイアウトイメージ

2. 健康状態の把握

規則正しい生活を送るとともに、普段からご自身やご家族の健康状態の把握に努めましょう。新型コロナウイルスの感染を疑う症状のある場合は、東部地区発熱・帰国者・接触者相談センターに早めに相談しましょう。

3. 非常食だけでなく体温計、マスクなどを持って避難

市の備蓄品にも限りがあります。避難をする際は自分に必要なものは自分で持参しましょう。また、感染症予防のためマスクや体温計なども持参品に加えて準備しましょう。

4. 基本的な感染症対策の順守

避難所で過ごす際は、マスクの着用、こまめな手洗い、咳エチケット、他の人との距離を離すなどの基本的な感染症対策を守りましょう。

5. 体調が悪い場合の避難方法

避難所内での感染拡大を防止するため、発熱・咳など体調の悪い人が避難所へ避難する場合は、到着時に体調不良であることを必ず申告してください。また、別室や区画したエリアで過ごすなど、他の避難者との接触に注意していただくをお願いします。

また本市では、災害時にFM鳥取の電波を利用し、本市から発信する緊急情報を受信して自動起動する鳥取市防災ラジオも販売しています。詳しくは、本市公式ホームページをご覧ください。



防災ラジオについて

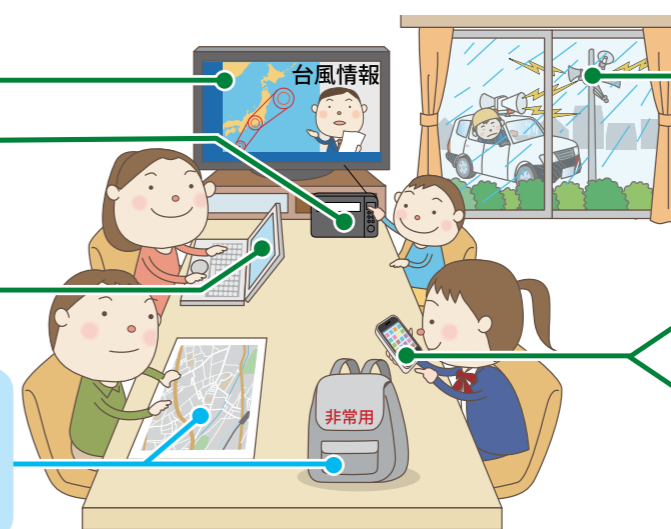
防災情報を入手するには？

ケーブルテレビ (NCN・いなびりびんびんネット) のL字放送

ラジオ
FM鳥取 (82.5MHz) では、災害時に緊急割り込み放送で災害情報を発信します。

鳥取市公式ホームページ

総合防災マップ
日頃の備えとして、危険箇所や避難場所を確認したり、非常持出品を準備しておくことも大切です。



防災行政無線

放送が聞き取れなかった場合は、本市公式ホームページや、防災行政無線確認ダイヤル (☎0857-21-6100) で放送内容を確認できます。
※鳥取・国府・福部・佐治・気高・鹿野・青谷地域で放送されたもの

あんしんトリピーメール

メールアドレスを登録しておく、防災気象情報や避難情報などが自動で配信されます。

緊急速報メール

被災の可能性がある地域にいる人の携帯電話に緊急情報を配信します。
※受信設定が必要な場合あり

避難情報に 注意してください

本市が気象情報などをもとに、災害発生の可能性が高まったと総合的に判断した場合は、避難情報を発令します。避難情報は、住民が危険性を直観的に理解できるようにするため、5段階の「警戒レベル」を付して発令します。

警戒レベル1・2では、災害への心構えを高めるとともに、避難に備えて避難経路や持ち物を確認しておきましょう。警戒レベル3では高齢者や避難に時間を要する人、警戒レベル4では全ての人が危険な場所から速やかに避難してください。警戒レベル5はすでに災害が発生している状況ですので、命を守るための最善の行動をとってください。

日頃から気象情報に注意を払うとともに、避難情報が持つ意味を正しく理解し、災害時に適切な避難行動がとれるようにしましょう。

避難準備・高齢者等避難開始

- 避難の準備を始め、気象情報などに注意しましょう。
- 避難に援助が必要な方や、その支援者は避難を開始しましょう。



避難勧告

- 速やかに避難所へ避難しましょう。
- 避難所への避難が難しい場合は、近隣の安全な場所へ避難しましょう。



避難指示 (緊急)

- 直ちに避難を完了してください。
- 災害がすでに発生している、または発生の危険が高まっています。

